

平成27年度 第1回和歌山市入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成27年11月13日(金) 市役所東庁舎4階 入札室		
出席委員氏名	井伊 博行(委員長) 池田 裕明(委員長職務代理者) 毛満 良子 齊藤 久美子 廣谷 行敏 五十音順		
審議対象期間	平成26年10月1日～平成27年3月31日		
抽出案件(総件数)	建設総務 3件 水道局 1件	議 事 1 委員長及び委員長職務代理の選出 2 入札及び契約手続の実績状況等の報告 3 抽出工事及び業務に係る経緯等の審議 4 その他 5 現場視察	
一般競争入札 (事前審査型)	建設総務 1件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(郵送方式))	建設総務 1件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(持参方式))	建設総務 1件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(電子入札方式))	建設総務 2件 水道局 1件		
公募型指名競争入札	建設総務 1件 水道局 1件		
指名競争入札	建設総務 1件 水道局 1件		
随意契約	建設総務 1件 水道局 1件		
委員からの意見・ 質問、それに対する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による建議の内容	なし		

和歌山市入札監視委員会
平成27年度 第1回会議録

<p>(建設総務課分)</p> <p>[事後審査型一般競争入札(電子入札方式)]</p> <p>① 南港山東線道路改築工事</p>	<p>事務局(建設総務課):抽出事案の概要説明</p> <p>本工事は、都市計画道路南港山東線道路の整備を目的とした中央分離帯のある片側2車線、距離184.3mの道路工事で、この工事に係る切土・山切により43,600m³の土量が発生するものです。</p> <p>この工事の施工区間には、上下水道、電気、通信、ガスの地下埋設管路を布設する計画があり、地下埋設物を移設する約9か月間は工事を一部中止しなければならないなど、地元調整や関係機関との調整が多く発生すると考えられます。その結果、入札参加者が少なく、落札率が高くなったと考えられます。</p> <p>委員:低入札価格調査の結果、落札者としていない者が1者出ているが、どういう理由だったんですか。</p> <p>事務局:提出してもらった資料を確認したところ、積算内訳に違算があり、その差額が予め定めている基準を超えていたため、落札者としませんでした。</p> <p>委員:最低制限価格が変動することで1者失格となった結果、高いところで落札しています。変動させずに最低制限価格で横並びになるのと、変動で最低制限価格に近い参加者が全て失格となって一気に上にいくリスクとどっちをとるのか。これは考えないといけないと思います。</p>
---	--

[事後審査型一般競争入札（電子入札方式）]

② 大新分区管渠改築工事その2

事務局（建設総務課）：抽出事案の概要説明

本工事は、下水道管渠の老朽化による機能低下や道路陥没を防止するため、既存の下水道管の中に新しい管を築造する管路更生工法により既設管の更生及び流下能力の確保を図るものです。

今回の現場は、城東中学校の南側道路であり、登下校時の歩行者や車両の交通量が多い場所であることから万全の安全措置や環境配慮が必要となるなど作業ロスが多く経費がかかると考えられます。また、供用中の管内での施工ということで、安全面及び環境面での配慮が経費を高くしている原因になり、企業努力で経費を削減することができなかった面もあると思われれます。一方で、施工としては容易な工事だったため、比較の入札参加者が多く、落札率が高くなったと考えられます。

委員：はい、わかりました。

[事後審査型一般競争入札（持参方式）]

③ 美園公園便所整備工事

事務局（建設総務課）：抽出事案の概要説明

本工事は、美園公園内にある老朽化したプレハブ便所解体と地盤改良を含んだプレハブ便所の設置工事です。工場で生産・加工し、建築現場で組み立てる建築工法であるプレハブ造便所の設置工事です。従来の建築工法に比べて工場生産の部材を利用する割合が大きく、直接工事費に対するプレハブ造便所に係る材料費の割合が約6割と高いものとなります。

施工としては容易な工事のため、比較の入札参加者が多くなりましたが、ユニット

<p>(水道経理課分)</p> <p>[事後審査型一般競争入札 (電子入札方式)]</p> <p>④ 加納浄水場凝集沈澱池築造工事</p>	<p>便所の材料費については企業努力で圧縮しにくく、材料等の高騰もあって落札率が高くなったと考えられます。</p> <p>委員:以前に比べて全体に落札率が高くなっていくように感じますね。</p> <p>事務局:工事内容にもよりますが、今回であれば製品を仕入れて現場で組み立てるということで、経費が圧縮できないことが原因であったのではないかと考えています。</p> <p>事務局 (水道経理課) 抽出事案の概要説明</p> <p>大規模な土木工事のこの案件は、加納浄水場の施設の老朽化に伴い、新設備に切り替えていく、加納浄水場更新事業の一環として、既設の高速凝集沈澱池を横流式凝集沈澱池に更新し、凝集能力の向上を図ると共に、処理水量の増量に対応することを目的とし、沈澱池を築造する工事です。</p> <p>沈澱池1池当たりの容量が約5,500立方メートルの池状のRC構造物の築造工事で、2系統計4池を築造します。</p> <p>入札結果としましては、今回は電子入札により、ランダム係数が0.9923と低かったこともあり、ランダム係数により失格となった業者は無く、7者の企業体の中で最低金額で応札した業者が落札しています。</p> <p>委員:今回は、係数が低かったので、係数で引掛かる共同体がなかったのですね。これを見ると加納の工事は22年度からずっとやってきて31年度で全部終わるのですか。方針としては、加納に集中していく</p>
---	---

	<p>んでしょう。</p> <p>事務局：第1期は終わります。加納浄水場の能力を上げまして、加納に集約していこうということです。</p> <p>委員：出島はこのまま継続していくんですか。</p> <p>事務局：とりあえず継続していくんですけど、水需要が減っておりますので、加納を増量した水量で全市まかなえる状況になれば将来的には加納一か所だけになるものと考えられます。</p> <p>委員：合理的にしていこうということですね。そういう中で加納を整備しているんですね。全体としてはそういう流れで見ればいいですね。</p> <p>事務局：はい。</p>
<p>【現場視察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 加納浄水場排水排泥池及び濃縮槽機械設備工事 ○ 加納浄水場脱水棟建築工事 ○ 加納浄水場脱水機械設備工事 	